

MASPRO

BC parabolo

BCアンテナセット

取扱説明書

BS・110°CS ANTENNA SET

BS・110°CSアンテナセット
受信周波数 11.7~12.75GHz

BSC45R-SET



DC15V方式

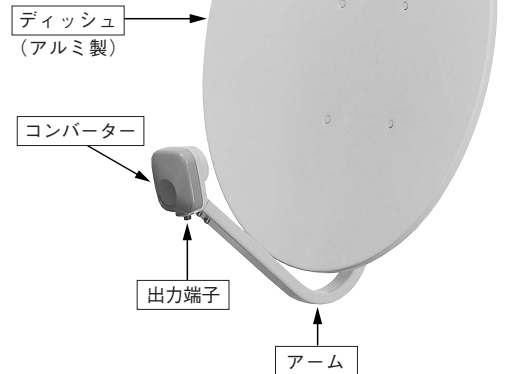
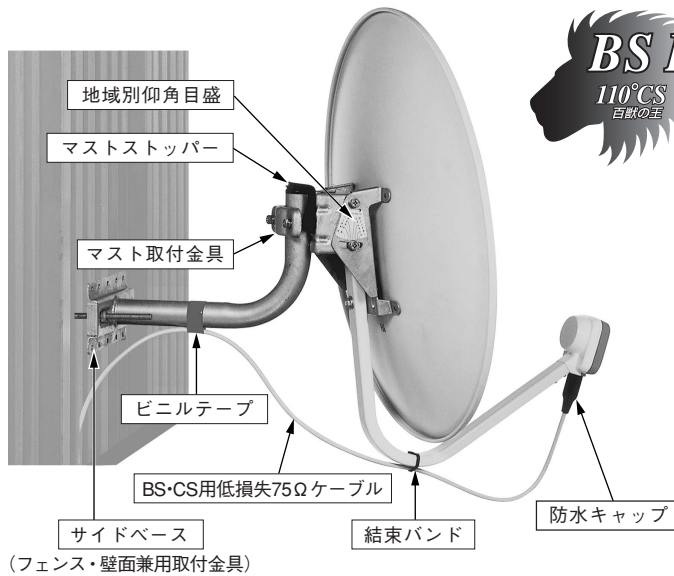
アンテナとサイドベース(フェンス・壁面兼用取付金具)、ケーブルなど、アンテナの取付けや配線に必要な機材がセットになっています。

BSデジタルハイビジョン対応

110°CSデジタル放送対応

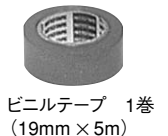
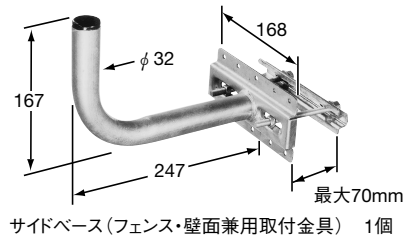
右旋円偏波用

BS・110°CS(スカパー!e2)受信用です。
スカパー!は受信できません。



MAStEr of PROduction
生産の覇者

セット内容



高性能G/T値を保証

G/Tは、アンテナ利得とコンバーターの雑音指数(NF)によって決まる衛星アンテナの総合性能です。マスプロBCパラボは、高効率ディッシュと高性能コンバーターによって、BSから110°CSまで広帯域にわたって最高水準のG/T値になっていますから、雷雨・豪雨などで衛星電波が弱くなったときに威力を発揮します。

優れた位相雑音特性

局部発振回路の位相雑音は、BS・110°CSデジタル放送を安定した画像で受信するために重要な性能です。コンバーターは、マスプロ独自の発振回路設計により、優れた位相雑音を実現していますから、BS・110°CSデジタル放送受信に最適です。

110°CSデジタル放送に対応

1台のアンテナで、BSデジタル放送と、110°CSデジタル放送の右旋円偏波が受信できます。

⚠ 警告

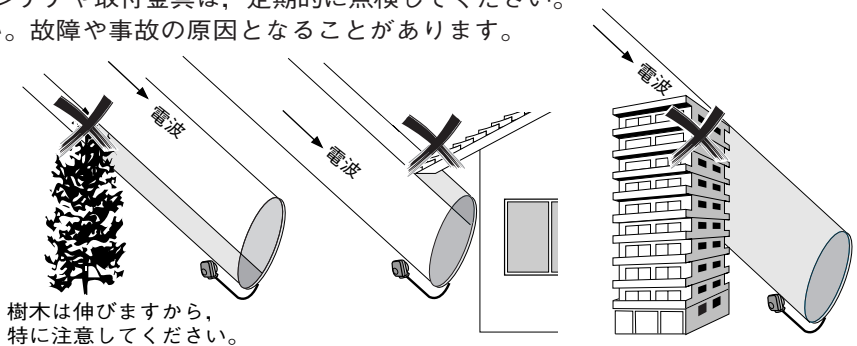
- 雷が鳴出したら、アンテナや引き込みケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
- ディッシュには、塗料やワックスなどを塗ったり、ラベルを張付けたりしないでください。光沢によって、太陽光線が反射してコンバーターに集まり、やけど・故障の原因となります。(3月・10月初旬の13~15時には、特に熱くなります)

⚠ 注意

- アンテナの部品の落下などによって、人や物などに損害を与えたり、危害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
- 強風のときは危険ですから、取付作業を行わないでください。
- アンテナ取付工事を行うときは、落下防止のため、アンテナや取付金具・工具を固定物にヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。
- テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
- 台風などによって、アンテナ・取付金具などに異常があったり、ボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか、必ず点検してください。また、アンテナや取付金具が、破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。
- 腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的な点検してください。
- アンテナを改造・分解しないでください。故障や事故の原因となることがあります。

アンテナの設置場所

- アンテナが、しっかりと設置できる場所を選んでください。
- 西南方向の、斜め上方に、障害物(樹木、軒先、ビル、高架道路、崖など)のない場所へ設置してください。



ご注意

BS・110°CSデジタル放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着したりすると電波が減衰し、まったく受信できなくなることがあります。

アンテナの設置例

フェンス設置

強度の充分確保できるフェンスにしっかりと取付けてください。

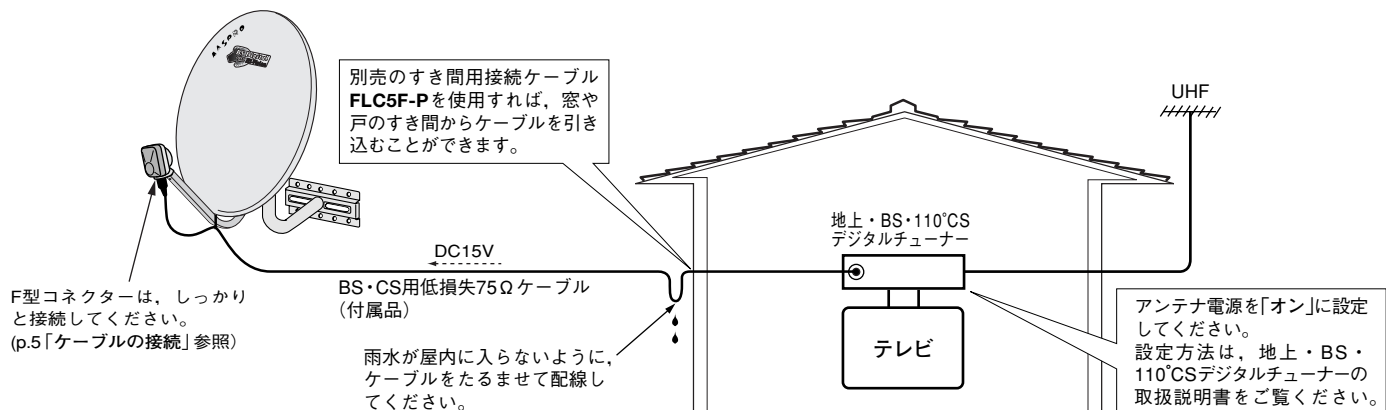


壁面設置

- 木造の場合、木ネジやくぎで、コンクリートの場合、アンカーボルトで、強度の充分確保できる壁面や柱・桁に、しっかりと取付けてください。
- 壁面に設置する場合、屋内への雨水の浸入や強度不足のないように注意してください。



アンテナとデジタルチューナーの接続例



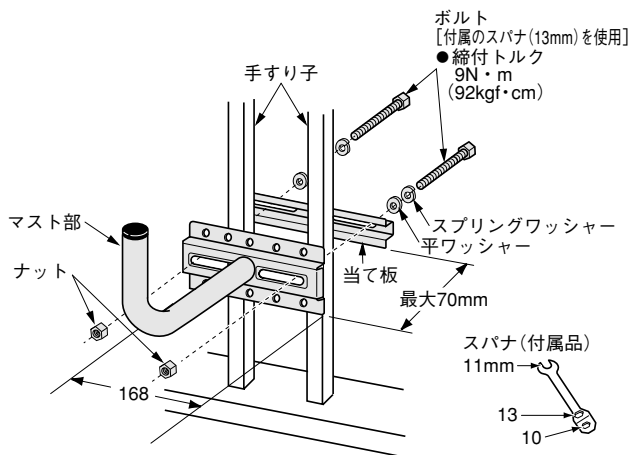
サイドベースの取付け

フェンスの場合

- 手すり子へ取付ける場合、サイドベースをフェンスの根元に近い、丈夫なところに取付けてください。
- ボルトは、手すり子にできるだけ近い位置で締付けてください。
- サイドベースのボルトは、付属のスパナ(13mm)を使用して、しっかりと締付けてください。
- 締付部分は初期ゆるみがありますから、数か月後に再度、締直してください。

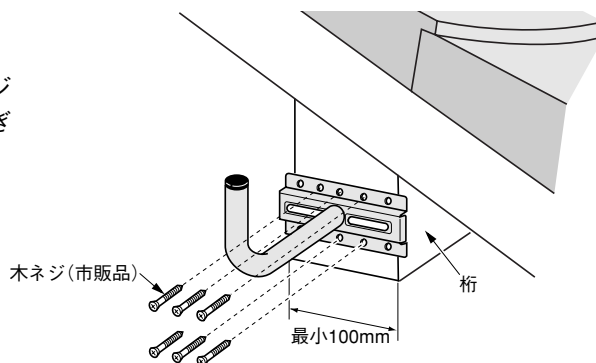
ご注意

サイドベースは、マスト部が必ず垂直になるように取付けてください。
マスト部が傾いていると、地域別仰角目盛が合わなくなり、簡単に方向調整できないことがあります。



柱・桁の場合

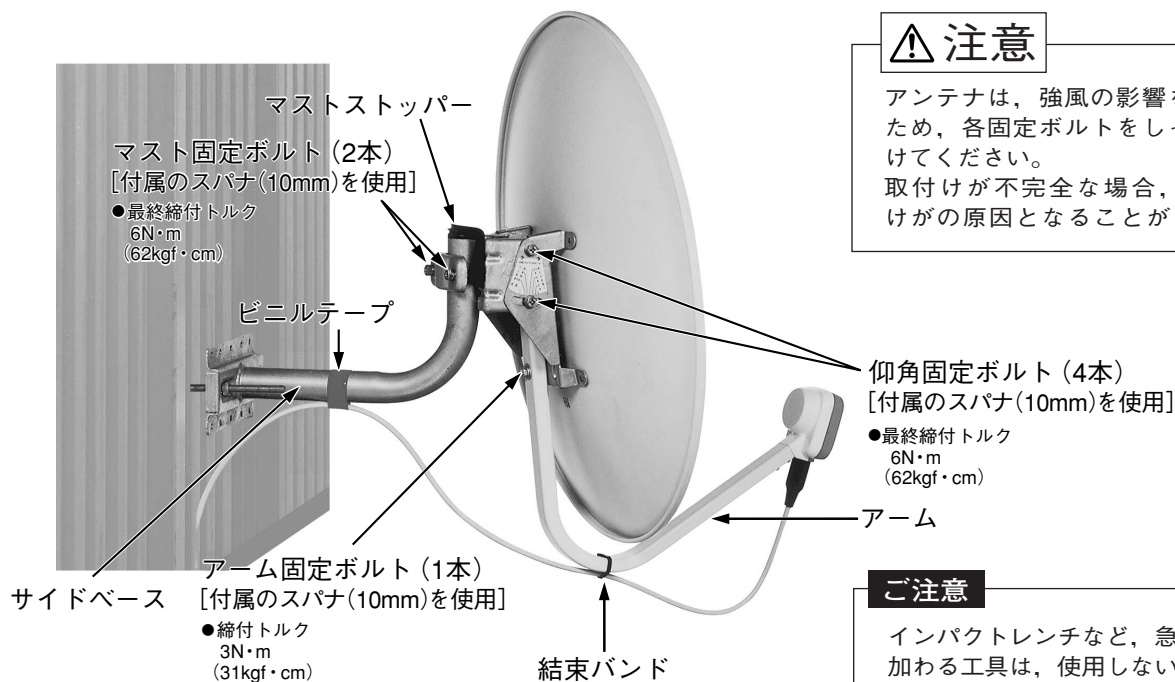
- 必ず直径5.1~5.5mm、長さ70mm以上の市販の木ネジまたは直径4.2~5.2mm、長さ100mm以上の市販のくぎで、6か所以上をしっかりと固定します。
- 壁面に設置する場合、必ず工務店にご相談ください。



アンテナの組立て・取付け

- ① 1本のアーム固定ボルトでアームを取付けます。
- ② サイドベース(フェンス・壁面兼用取付金具)にアンテナを取付けます。

アンテナが左右に回転する程度に、マスト固定ボルトを、付属のスパナ(10mm)を使用して、締付けてください。



⚠ 注意

アンテナは、強風の影響を受けやすいため、各固定ボルトをしっかりと締付けてください。
取付けが不完全な場合、落下して、けがの原因となることがあります。

ご注意

インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は、使用しないでください。
固定ボルトの変形や破損の原因となります。

アンテナの方向調整

110°CSデジタル放送は、BS放送衛星と同じ軌道位置にあるCS衛星から電波が送られてきます。アンテナは、BSデジタル放送を受信して方向調整をします。

BS・CS用低損失75Ωケーブルで、アンテナと地上・BS・110°CSデジタルチューナーまたはデジタルテレビを接続します。接続方法は、p.2「アンテナとデジタルチューナーの接続例」とp.5「ケーブルの接続」、「ケーブルの配線」をご覧ください。

① 方向調整の準備をします。

- 1.アンテナと接続したデジタルチューナーやデジタルテレビの電源を入れ、アンテナ電源の設定を「オン」にします。

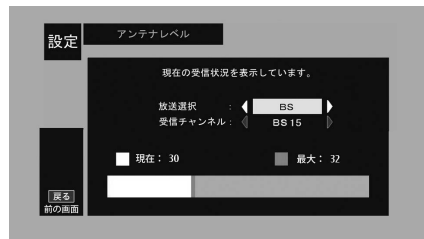
ご注意

ブースターなど、他の機器からアンテナへ電源を供給しているときは、必ずアンテナ電源の設定を「オフ」にしてください。

- 2.「アンテナレベル」画面を表示します。

- 画面の表示方法は、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

「アンテナレベル」画面の例



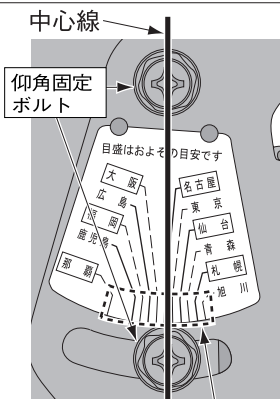
画面の表示は一例で、使用するデジタルチューナーまたはデジタルテレビで異なります。

② 仰角を合わせます。

仰角固定ボルトの中心線に、地域別仰角目盛に表示してある「地名」を、およそ合わせて、仰角固定ボルトを仮締めしてください。

- 受信点がどの「地名」に該当しているかは、右の「地域別仰角目盛対応図」で確認してください。

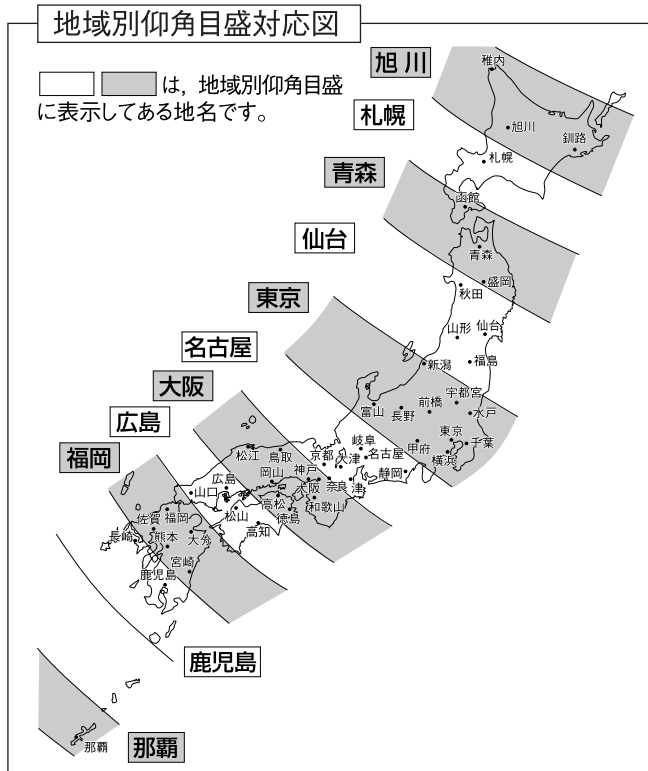
地域別仰角目盛 (およその目安)
(名古屋に合わせた例)



この目盛りを中心線に、およそ合わせます。

地域別仰角目盛対応図

□ □ は、地域別仰角目盛に表示してある地名です。



③ 方位角を調整します。

「アンテナレベル」画面を見ながら、アンテナを真西方向から西南方向に少しずつ動かして、デジタルチューナーまたはデジタルテレビのアンテナレベルの値が最大になるところで、マスト固定ボルトを仮締めしてください。

ポイント

アンテナは、少しずつ動かしてください。

アンテナの方向調整は、左右±1°以内の角度で調整しなければ受信できません。(方向が3°以上ずれると、アンテナレベルの値は「0」になります)
また、「アンテナレベル」画面の表示は、アンテナレベルが変化しても、表示が変わるまでに少し時間がかかりますから、ゆっくりと調整する必要があります。アンテナを少し(1°ぐらい)動かし、2~3秒待って、アンテナレベルを確認しながら調整してください。



方位角の調整

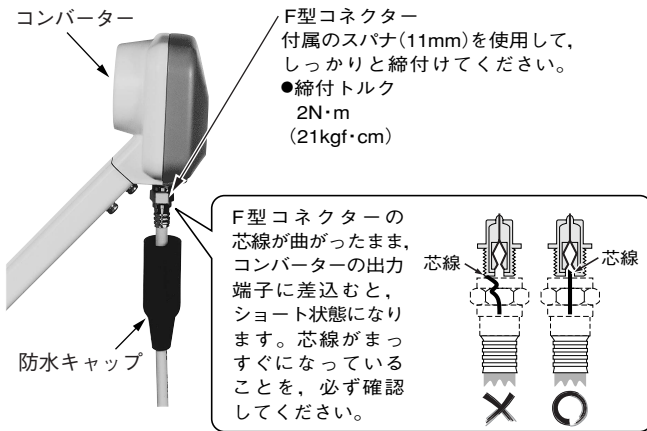
④ 仰角・方位角を微調整します。

アンテナの仰角・方位角を微調整して、アンテナレベルが最大となる位置で、各固定ボルトをしっかりと均等に締め付けてください。

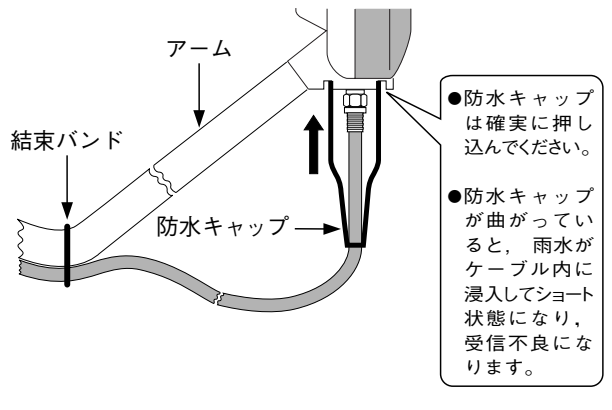
きれいに映らないときは、サイドベースのマスト部が垂直に取付けられているか、もう一度確認し、再度、② からやり直してください。

ケーブルの接続

- ① F型コネクタを、コンバーターの出力端子に、しっかりと接続してください。



- ② 防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込んで、防水キャップが曲がらないように、ケーブルを付属の結束バンドで固定してください。

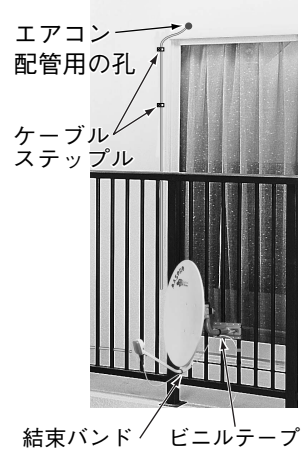
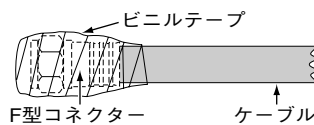


ケーブルの配線

エアコン配管用の孔がないときは、別売のすき間用接続ケーブルFLC5F-Pを使用すれば、窓や戸のすき間からケーブルを引込むことができます。(別売の4Cケーブル用F型コネクタFP4が1個必要です)

ご注意

- エアコン配管用の孔などから、ケーブルを室内に通す場合、ケーブル先端のF型コネクタにビニルテープなどを巻いて、保護してください。保護をしないと、F型コネクタにゴミが入ったり、芯線が曲がったりして、故障の原因となることがあります。
- ケーブルは、無理に曲げないでください。(曲げ半径は40mm以下にしないでください)無理に曲げると、断線など、故障の原因となることがあります。



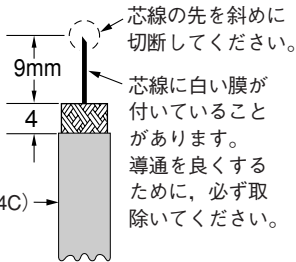
- ① エアコン配管用の孔などから、ケーブルを室内に通します。
- ② ケーブルはフェンスまたは壁面などに合わせて、付属の結束バンド、ケーブルステップ、ビニルテープなどで固定します。
- ③ 配線が終わった後、市販のパテでエアコン配管用の孔をふさぎます。
- ④ 室内に引き込んだケーブルをデジタルチューナーのアンテナ入力端子に接続します。

ケーブルを切断して使用する場合

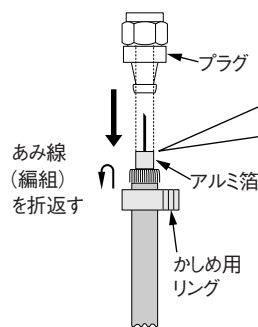
ケーブルを必要な長さに切断して、付属のF型コネクタ(4Cケーブル用)を取付けてください。

F型コネクタ(4Cケーブル用)の取付方法

- ①ケーブルの加工(加工寸法は原寸大です) ②プラグの取付け

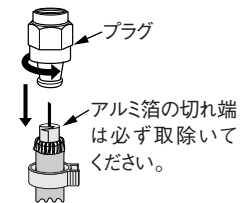


1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線(編組)を折返してください。
3. プラグを強く押し込んでください。



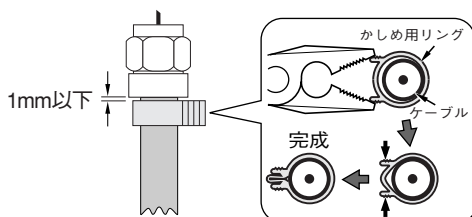
アルミ箱がはがれる場合

プラグの内側にアルミ箱が入るようにアルミ箱の巻付けられている方向にプラグを回しながら、ていねいに押し込んでください。

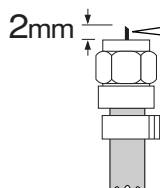


- ③かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないように、プラグの根元でしっかりと圧着してください。



完成図



芯線の長さは、必ず2mmにしてください。芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。

芯線は、まっすぐにしてください。芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



規格表

MASPRO

項目	規格
受信周波数	11.7~12.75GHz
受信偏波	右旋円偏波
アンテナ利得	33.7~34.6dB
開口効率	77~80%
性能指数(G/T)	標準値14.5dB/K (13.3~15.5dB/K)
風圧荷重※1	7kg(風速20m/s) 26kg(風速40m/s) 59kg(風速60m/s)
耐風速※2	受信可能風速20m/s 復元可能風速40m/s 破壊風速60m/s
受風面積	0.19m ²
有効開口径	450mm
出力周波数	1032~2072MHz
コンバーター利得	48~56dB
局部発振位相雑音	標準値 ⊖ 75dBc/Hz (1kHzオフセット) ◇ ⊖ 97dBc/Hz (5kHz ◇) ◇ ⊖ 106dBc/Hz (10kHz ◇)
雑音指数	0.5~0.9dB
出カインピーダンス	75Ω (F型コネクター)
局部発振周波数	10.678GHz
局部発振周波数安定度	±1.5MHz以内
使用温度範囲	⊖30~⊕50℃
電源	DC15V 1.5W (標準値)
外観寸法(仰角40°のとき)	550(H)×460(W)×435(D)mm (マスト径32mmのとき)
質量(重量)	約1.5kg

※1 風圧荷重は、BSC45R単体のものです。

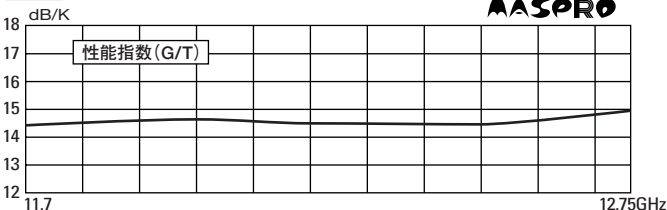
※2 受信可能風速：アンテナに風圧を加えている間、電気的性能のG/T劣化が1dB以下であるときの最大風速です。

復元可能風速：アンテナに風圧を加えた後、アンテナの方向を再調整することにより電気的性能を満足する最大風速です。

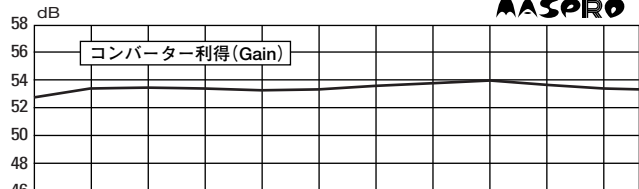
破壊風速：アンテナに風圧を加えた後、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速です。

周波数特性

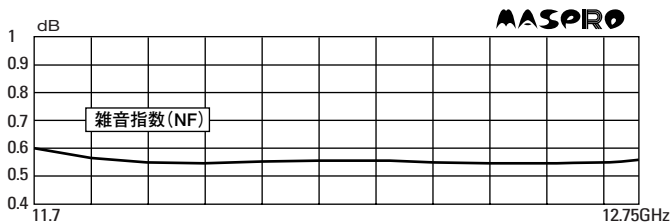
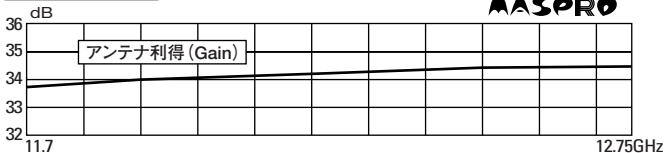
G/T



コンバーター部



アンテナ部



マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。保証します。

特 許 第3060124号
◇ 第3775881号
登録意匠 第 932491号
◇ 第1049103号

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

地デジをすべての人に届けたい
マスプロ電工

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
 技術相談 TEL名古屋 (052) 805-3366
 受付時間 9~12時, 13~17時
 (土・日・祝日, 当社休業日を除く)
 インターネットホームページ www.maspro.co.jp
 技術相談以外は, お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

首都圏電材(営) (03) 5469-5521
 首都圏(シ) (03) 3499-5632
 西日本(シ) (082) 230-2359
 中日本(シ) (06) 6632-1144
 北日本(シ) (022) 786-5062
 福岡(支) (092) 551-1711
 沖縄 (098) 854-2768
 鹿児島 (099) 812-1200
 宮崎 (0985) 25-3877
 熊本 (096) 381-7626
 長崎 (095) 864-6001

北九州 (093) 941-4026
 下関 (083) 255-1130
 広島(支) (082) 230-2351
 松江 (0852) 21-5341
 岡山 (086) 252-5800
 松山 (089) 973-5656
 高知 (088) 882-0991
 高松 (087) 865-3666
 大阪(支) (06) 6635-2222
 姫路 (079) 234-6669
 神戸 (078) 231-6111
 京都 (075) 646-3800
 東海(工) (052) 804-6262

名古屋(支) (052) 802-2233
 津 (059) 234-0261
 岐阜 (058) 275-0805
 豊橋 (0532) 333-1500
 静岡 (054) 283-2220
 松本 (0263) 57-4625
 福井 (0776) 23-8153
 金沢 (076) 249-5301
 関東(工) (03) 3499-5631
 東京(支) (03) 3409-5505
 新潟 (025) 287-3155
 横浜 (045) 784-1422
 八王子 (042) 637-1699
 千葉 (043) 232-5335
 さいたま (048) 663-8000

前橋 (027) 263-3767
 水戸 (029) 248-3870
 宇都宮 (028) 636-1210
 仙台(支) (022) 786-5060
 郡山 (024) 952-0095
 盛岡 (019) 641-1500
 秋田 (018) 862-7523
 青森 (017) 742-4227
 札幌 (011) 782-0711
 釧路 (0154) 23-8466
 旭川 (0166) 25-3111
 (営)：営業グループ
 (シ)：システム営業グループ
 (工)：工事グループ

SEP. 2010